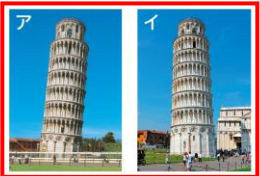
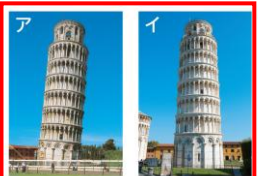


中学校数学教科書「数学の世界1」訂正表

修正箇所	原文	修正文	理由																																																																																				
p.13 左中			東京スタジアムの観客席数が変わったため。																																																																																				
p.13 下			新しいデータで学習できるようにするため。																																																																																				
p.61 下	<p>次の表は、<u>2018</u>年に測定された、各月の最高水位と最低水位を示しています。</p>  <table border="1" data-bbox="215 1011 860 1214"> <thead> <tr> <th></th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最高水位 (cm)</td> <td>+10</td> <td>-13</td> <td>+12</td> <td>+17</td> <td>+25</td> <td>-4</td> </tr> <tr> <td>最低水位 (cm)</td> <td>-15</td> <td>-19</td> <td>-20</td> <td>-2</td> <td>-10</td> <td>-23</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="215 1123 860 1214"> <thead> <tr> <th></th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最高水位 (cm)</td> <td>+77</td> <td>-20</td> <td>-10</td> <td>-7</td> <td>-37</td> <td>-40</td> </tr> <tr> <td>最低水位 (cm)</td> <td>-23</td> <td>-42</td> <td>-42</td> <td>-39</td> <td>-52</td> <td>-54</td> </tr> </tbody> </table> <p>「水文水质データベース」(国土交通省)</p>		1月	2月	3月	4月	5月	6月	最高水位 (cm)	+10	-13	+12	+17	+25	-4	最低水位 (cm)	-15	-19	-20	-2	-10	-23		7月	8月	9月	10月	11月	12月	最高水位 (cm)	+77	-20	-10	-7	-37	-40	最低水位 (cm)	-23	-42	-42	-39	-52	-54	<p>次の表は、<u>2023</u>年に測定された、各月の最高水位と最低水位を示しています。</p>  <table border="1" data-bbox="1077 1007 1722 1098"> <thead> <tr> <th></th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最高水位 (cm)</td> <td>-34</td> <td>-16</td> <td>-1</td> <td>+16</td> <td>+36</td> <td>+38</td> </tr> <tr> <td>最低水位 (cm)</td> <td>-53</td> <td>-36</td> <td>-17</td> <td>-5</td> <td>-2</td> <td>-22</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1077 1123 1722 1214"> <thead> <tr> <th></th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最高水位 (cm)</td> <td>-10</td> <td>+1</td> <td>-26</td> <td>-34</td> <td>-54</td> <td>-67</td> </tr> <tr> <td>最低水位 (cm)</td> <td>-31</td> <td>-42</td> <td>-37</td> <td>-54</td> <td>-68</td> <td>-79</td> </tr> </tbody> </table> <p>「水文水质データベース」(国土交通省)</p>		1月	2月	3月	4月	5月	6月	最高水位 (cm)	-34	-16	-1	+16	+36	+38	最低水位 (cm)	-53	-36	-17	-5	-2	-22		7月	8月	9月	10月	11月	12月	最高水位 (cm)	-10	+1	-26	-34	-54	-67	最低水位 (cm)	-31	-42	-37	-54	-68	-79	新しいデータで学習できるようにするため。
	1月	2月	3月	4月	5月	6月																																																																																	
最高水位 (cm)	+10	-13	+12	+17	+25	-4																																																																																	
最低水位 (cm)	-15	-19	-20	-2	-10	-23																																																																																	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月																																																																																	
最高水位 (cm)	+77	-20	-10	-7	-37	-40																																																																																	
最低水位 (cm)	-23	-42	-42	-39	-52	-54																																																																																	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月																																																																																	
最高水位 (cm)	-34	-16	-1	+16	+36	+38																																																																																	
最低水位 (cm)	-53	-36	-17	-5	-2	-22																																																																																	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月																																																																																	
最高水位 (cm)	-10	+1	-26	-34	-54	-67																																																																																	
最低水位 (cm)	-31	-42	-37	-54	-68	-79																																																																																	
p.62 18-21行目 p.298右段 10-11行目	<p>❏ ④ 右の表は、5人の生徒の<u>スポーツテスト</u>の得点から、クラスの平均点をひいた差を示していて、Aの得点は<u>143</u>点です。</p> <p>④ (1) 10点高い (2) <u>138</u>点 (3) <u>139</u>点</p>	<p>❏ ④ 右の表は、5人の生徒の<u>新体力テスト</u>の得点から、クラスの平均点をひいた差を示していて、Aの得点は<u>43</u>点です。</p> <p>④ (1) 10点高い (2) <u>38</u>点 (3) <u>39</u>点</p>	学校で実際に行われている調査に合わせるため。																																																																																				

修正箇所	原文	修正文	理由																																										
<p>p.212 右上</p>	<p>写真アの に立って</p> 	<p>写真アの に立って</p> 	<p>写真使用の契約切れのため。</p>																																										
<p>p.219 10行目</p>	<p>Q3 右の図の円錐の展開図で、側面にあたるおうぎ形の<u>弧と半径の長さ</u>をそれぞれ求めなさい。</p>	<p>Q3 右の図の円錐の展開図で、側面にあたるおうぎ形の<u>弧の長さ</u>と<u>半径</u>をそれぞれ求めなさい。</p>	<p>ほかの部分の記述と統一するため。</p>																																										
<p>p.248 右上</p>	<p>表 8 バスケットボール日本代表選手の身長</p> <table border="1" data-bbox="219 715 495 911"> <thead> <tr> <th>身長 (cm)</th> <th>度数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以上 未満 155 ~ 165</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>165 ~ 175</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>175 ~ 185</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>185 ~ 195</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>「2018 年 U-18 女子日本代表選手」</u> (国際バスケットボール連盟)</p>	身長 (cm)	度数 (人)	以上 未満 155 ~ 165	2	165 ~ 175	3	175 ~ 185	5	185 ~ 195	2	計	12	<p>表 8 バスケットボール日本代表選手の身長</p> <table border="1" data-bbox="1120 715 1395 911"> <thead> <tr> <th>身長 (cm)</th> <th>度数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以上 未満 155 ~ 165</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>165 ~ 175</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>175 ~ 185</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>185 ~ 195</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>「2023 年度女子日本代表選手」</u> (日本バスケットボール協会)</p>	身長 (cm)	度数 (人)	以上 未満 155 ~ 165	2	165 ~ 175	3	175 ~ 185	5	185 ~ 195	2	計	12	<p>新しいデータで学習できるようにするため。</p>																		
身長 (cm)	度数 (人)																																												
以上 未満 155 ~ 165	2																																												
165 ~ 175	3																																												
175 ~ 185	5																																												
185 ~ 195	2																																												
計	12																																												
身長 (cm)	度数 (人)																																												
以上 未満 155 ~ 165	2																																												
165 ~ 175	3																																												
175 ~ 185	5																																												
185 ~ 195	2																																												
計	12																																												
<p>p.249 上</p>	<p>表 9 は、15 人のバスケットボール選手の身長を度数分布表に表したものです。</p> <p>(1) 選手の身長のおよその<u>平均値</u>を求めなさい。</p> <p>(2) 最頻値をいいなさい。</p> <table border="1" data-bbox="539 1158 875 1370"> <thead> <tr> <th>身長 (cm)</th> <th>度数 (人)</th> <th>(階級値) × (度数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以上 未満 145 ~ 155</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>155 ~ 165</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>165 ~ 175</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>175 ~ 185</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>185 ~ 195</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>「第 48 回全国中学校バスケットボール大会男子優勝校の選手」</u> (平成 30 年度全国中学校体育大会 山口県実行委員会)</p>	身長 (cm)	度数 (人)	(階級値) × (度数)	以上 未満 145 ~ 155	1		155 ~ 165	3		165 ~ 175	5		175 ~ 185	4		185 ~ 195	2		計	15		<p>表 9 は、15 人のバスケットボール選手の身長を度数分布表に表したものです。</p> <p>(1) 選手の身長のおよその<u>平均値</u>を、<u>小数第 1 位を四捨五入して求めなさい。</u></p> <p>(2) 最頻値をいいなさい。</p> <table border="1" data-bbox="1444 1145 1780 1358"> <thead> <tr> <th>身長 (cm)</th> <th>度数 (人)</th> <th>(階級値) × (度数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以上 未満 135 ~ 145</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>145 ~ 155</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>155 ~ 165</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>165 ~ 175</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>175 ~ 185</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>「第 1 回全国 U15 バスケットボール選手権大会 (男子秋田県代表チームの選手)」</u> (日本バスケットボール協会)</p>	身長 (cm)	度数 (人)	(階級値) × (度数)	以上 未満 135 ~ 145	1		145 ~ 155	2		155 ~ 165	5		165 ~ 175	3		175 ~ 185	4		計	15		<p>新しいデータで学習できるようにするため。</p>
身長 (cm)	度数 (人)	(階級値) × (度数)																																											
以上 未満 145 ~ 155	1																																												
155 ~ 165	3																																												
165 ~ 175	5																																												
175 ~ 185	4																																												
185 ~ 195	2																																												
計	15																																												
身長 (cm)	度数 (人)	(階級値) × (度数)																																											
以上 未満 135 ~ 145	1																																												
145 ~ 155	2																																												
155 ~ 165	5																																												
165 ~ 175	3																																												
175 ~ 185	4																																												
計	15																																												

修正箇所

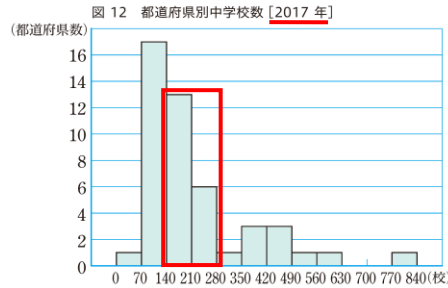
原文

修正文

理由

p.250

表 11 は、都道府県別に中学校の数を調べたデータです。このデータをもとに、階級の幅を 70 校として図 12 のようなヒストグラムに表し、代表値を調べました。都道府県ごとの学校数の傾向について調べましょう。



平均値 約220 校 中央値 167 校 最頻値 105 校

- 自分たちが住んでいる都道府県の学校数は多いほうですか、少ないほうですか。それを判断するには、どの代表値を使って判断すればよいですか。
- ほかの都道府県を 1 つ選び、(1) と同じように調べなさい。

が左右対称でないときや、かけ離れている値があるとき中央値や最頻値を代表値といる場合があります。値として何を用いるかは、の分布やデータを活用する目的で判断する必要があります。

分布が山型になっていないときや、いくつもの山があるときには、最頻値は代表値として適当であるとはいえません。



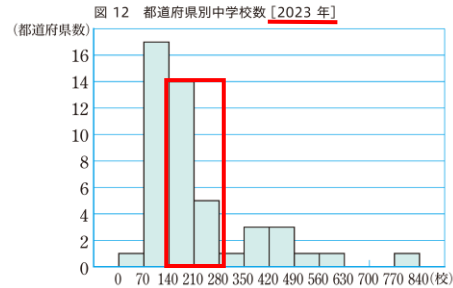
データを正しく活用するには >> MATHFUL p.278

表 11 都道府県別中学校数 [2017 年]

北海道	611
青森	161
岩手	165
宮城	211
秋田	117
山形	101
福島	230
茨城	231
栃木	165
群馬	168
埼玉	446
千葉	402
東京	807
神奈川	476
新潟	237
富山	82
石川	89
福井	83
山梨	92
長野	196
岐阜	188
静岡	295
愛知	443
三重	171
滋賀	107
京都	198
大阪	527
兵庫	387
奈良	117
和歌山	131
鳥取	63
島根	102
岡山	164
広島	267
山口	167
徳島	90
香川	77
愛媛	134
高知	128
福岡	368
佐賀	93
長崎	192
熊本	175
大分	138
宮崎	138
鹿児島	239
沖縄	156

「学校基本調査」(文部科学省)

表 11 は、都道府県別に中学校の数を調べたデータです。このデータをもとに、階級の幅を 70 校として図 12 のようなヒストグラムに表し、代表値を調べました。都道府県ごとの学校数の傾向について調べましょう。



平均値 約212 校 中央値 160 校 最頻値 105 校

- 自分たちが住んでいる都道府県の学校数は多いほうですか、少ないほうですか。それを判断するには、どの代表値を使って判断すればよいですか。
- ほかの都道府県を 1 つ選び、(1) と同じように調べなさい。

が左右対称でないときや、かけ離れている値があるとき中央値や最頻値を代表値といる場合があります。値として何を用いるかは、の分布やデータを活用する目的で判断する必要があります。

分布が山型になっていないときや、いくつもの山があるときには、最頻値は代表値として適当であるとはいえません。





データを正しく活用するには >> MATHFUL p.278

表 11 都道府県別中学校数 [2023 年]

北海道	563
青森	153
岩手	149
宮城	200
秋田	104
山形	94
福島	212
茨城	224
栃木	156
群馬	160
埼玉	446
千葉	388
東京	800
神奈川	471
新潟	230
富山	76
石川	90
福井	80
山梨	92
長野	193
岐阜	181
静岡	290
愛知	434
三重	167
滋賀	103
京都	188
大阪	513
兵庫	375
奈良	107
和歌山	126
鳥取	56
島根	95
岡山	163
広島	261
山口	160
徳島	89
香川	75
愛媛	131
高知	122
福岡	353
佐賀	91
長崎	184
熊本	170
大分	127
宮崎	132
鹿児島	220
沖縄	150

「学校基本調査」(文部科学省)

新しいデータで学習できるようにするため。

修正箇所	原文	修正文	理由																																																																																																
<p>p.253 活動2</p>	<div data-bbox="226 220 280 304" style="border: 1px solid purple; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">活動 2</div> <p>表 13 は、<u>2008</u> 年から <u>2017</u> 年までの日本の男女別出生数を示したものです。このデータを使って、男子が生まれることと女子が生まれることの起こりやすさを調べましょう。</p>  <p>表 13 日本の男女別出生数</p> <table border="1" data-bbox="309 400 954 628"> <thead> <tr> <th>年次(年)</th> <th>総出生数(人)</th> <th>男子の出生数(人)</th> <th>女子の出生数(人)</th> <th>男子が生まれる相対度数</th> <th>女子が生まれる相対度数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2008</td> <td>1091156</td> <td>559513</td> <td>531643</td> <td></td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>2009</td> <td>1070035</td> <td>548993</td> <td>521042</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2010</td> <td>1071304</td> <td>550742</td> <td>520562</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2011</td> <td>1050806</td> <td>538271</td> <td>512535</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td>⋮</td> <td>⋮</td> <td>⋮</td> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>976978</td> <td>501880</td> <td>475098</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>946065</td> <td>484449</td> <td>461616</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">「人口動態統計」(厚生労働省)</p> <p><u>2008</u> 年における女子が生まれる相対度数は、</p> $\frac{\text{女子の出生数}}{\text{総出生数}} = \frac{531643}{1091156} = 0.487 \dots$ <p>で、小数第 3 位を四捨五入して小数第 2 位まで求めると、およそ 0.49 であることがわかります。</p> <p>(1) <u>2008</u> 年における男子が生まれる相対度数を求めなさい。 (2) <u>2009</u> 年以後のそれぞれの年次について、男子が生まれる相対度数と女子が生まれる相対度数を求めなさい。</p>	年次(年)	総出生数(人)	男子の出生数(人)	女子の出生数(人)	男子が生まれる相対度数	女子が生まれる相対度数	2008	1091156	559513	531643		0.49	2009	1070035	548993	521042			2010	1071304	550742	520562			2011	1050806	538271	512535			⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	2016	976978	501880	475098			2017	946065	484449	461616			<div data-bbox="1106 209 1160 293" style="border: 1px solid purple; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">活動 2</div> <p>表 13 は、<u>2012</u> 年から <u>2022</u> 年までの日本の男女別出生数を示したものです。このデータを使って、男子が生まれることと女子が生まれることの起こりやすさを調べましょう。</p>  <p>表 13 日本の男女別出生数</p> <table border="1" data-bbox="1189 389 1834 617"> <thead> <tr> <th>年次(年)</th> <th>総出生数(人)</th> <th>男子の出生数(人)</th> <th>女子の出生数(人)</th> <th>男子が生まれる相対度数</th> <th>女子が生まれる相対度数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2012</td> <td>1037232</td> <td>531781</td> <td>505451</td> <td></td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>2013</td> <td>1029817</td> <td>527657</td> <td>502160</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>1003609</td> <td>515572</td> <td>488037</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>1005721</td> <td>515468</td> <td>490253</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td>⋮</td> <td>⋮</td> <td>⋮</td> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>811622</td> <td>415903</td> <td>395719</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>770759</td> <td>395257</td> <td>375502</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">「人口動態統計」(厚生労働省)</p> <p><u>2012</u> 年における女子が生まれる相対度数は、</p> $\frac{\text{女子の出生数}}{\text{総出生数}} = \frac{505451}{1037232} = 0.487 \dots$ <p>で、小数第 3 位を四捨五入して小数第 2 位まで求めると、およそ 0.49 であることがわかります。</p> <p>(1) <u>2012</u> 年における男子が生まれる相対度数を求めなさい。 (2) <u>2013</u> 年以後のそれぞれの年次について、男子が生まれる相対度数と女子が生まれる相対度数を求めなさい。</p>	年次(年)	総出生数(人)	男子の出生数(人)	女子の出生数(人)	男子が生まれる相対度数	女子が生まれる相対度数	2012	1037232	531781	505451		0.49	2013	1029817	527657	502160			2014	1003609	515572	488037			2015	1005721	515468	490253			⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	2021	811622	415903	395719			2022	770759	395257	375502			<p>新しいデータで学習できるようにするため。</p>
年次(年)	総出生数(人)	男子の出生数(人)	女子の出生数(人)	男子が生まれる相対度数	女子が生まれる相対度数																																																																																														
2008	1091156	559513	531643		0.49																																																																																														
2009	1070035	548993	521042																																																																																																
2010	1071304	550742	520562																																																																																																
2011	1050806	538271	512535																																																																																																
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮																																																																																														
2016	976978	501880	475098																																																																																																
2017	946065	484449	461616																																																																																																
年次(年)	総出生数(人)	男子の出生数(人)	女子の出生数(人)	男子が生まれる相対度数	女子が生まれる相対度数																																																																																														
2012	1037232	531781	505451		0.49																																																																																														
2013	1029817	527657	502160																																																																																																
2014	1003609	515572	488037																																																																																																
2015	1005721	515468	490253																																																																																																
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮																																																																																														
2021	811622	415903	395719																																																																																																
2022	770759	395257	375502																																																																																																

修正箇所 p.256

原文

Problem 国々の気候や生活習慣の違いを調べる

Plan 計画を立てよう

Data データを集めよう

即

3人は、自動車の広告を見て、燃費について話しています。

「燃費」はガソリン1L当たり、何km進めるかを表している数値だよ。

環境

あおい 燃費のよさをアピールしているね。

ゆうと 以前に比べると、燃費がよくなったと聞くよ。

マイ 燃費がいいとガソリン代の節約もできるし、環境にも優しいね。

1 自動車の燃費を比べよう

めあて 学習したことを活用して、身のまわりのデータの傾向を調べよう。

調べたいこと ▶ ガソリン自動車の燃費は、どのように変化したのだろうか。

カルロス 10年の間にどう変化したのかな。

さくら 自動車の種類を決めて、データを集めてみよう。

表15 ガソリン軽自動車の燃費(2007年)

番号	燃費(km/L)	番号	燃費(km/L)
1	14.6	22	20.5
2	16.2	23	21.0
3	16.4	24	21.0
4	16.4	25	21.0
5	16.4	26	21.5
6	16.8	27	21.5
7	17.0	28	22.0
8	17.0	29	22.0
9	17.2	30	22.5
10	18.0	31	22.5
11	18.0	32	23.0
12	18.0	33	23.5
13	18.8	34	23.5
14	19.0	35	23.5
15	19.0	36	24.5
16	19.0	37	24.5
17	19.2	38	24.5
18	19.4	39	24.5
19	19.8	40	24.5
20	19.8	41	26.0
21	20.0	42	27.0

「自動車燃費一覧」(国土交通省)

表16 ガソリン軽自動車の燃費(2017年)

番号	燃費(km/L)	番号	燃費(km/L)
1	14.8	25	27.2
2	15.2	26	27.6
3	15.2	27	27.6
4	16.2	28	28.0
5	16.2	29	28.0
6	16.2	30	28.4
7	16.2	31	28.6
8	16.8	32	29.0
9	16.8	33	29.4
10	22.0	34	29.4
11	22.2	35	29.6
12	22.2	36	30.0
13	24.2	37	30.0
14	24.2	38	30.0
15	24.4	39	31.0
16	24.4	40	32.0
17	25.4	41	32.0
18	25.4	42	32.0
19	25.6	43	32.0
20	25.6	44	33.0
21	25.8	45	33.0
22	25.8	46	35.2
23	25.8	47	35.2
24	27.2		

「自動車燃費一覧」(国土交通省)

インターネットで軽自動車の燃費のデータを見つけたよ。

カルロス

「軽自動車」は、排気量が660cc以下の自動車だよ。

修正文

理由

新しく、より身近な題材で学習できるようにするため。

Problem 国々の気候や生活習慣の違いを調べる

Plan 計画を立てよう

Data データを集めよう

節

あおいさんたちは、ごみを減らす取り組みについて調べています。

環境

あおい 私たちの県では、ごみを減らす取り組みが積極的に行われているよ。

ゆうと 取り組みの成果が出て、ごみの量は減ったと聞いたよ。

マイ ごみが減ると、処理に必要なエネルギーも減って、環境を守ることにつながるね。

1 ごみの量を比べよう

めあて 学習したことを活用して、身のまわりのデータの傾向を調べよう。

調べたいこと ▶ ごみの量は、どのように変化したのだろうか。

カルロス みんなが出しているごみの量に関するデータを集めてみよう。

さくら 集めたデータを、2つの年で比べてみよう。

表15 1人1日あたりのごみの排出量 [2006年度]

都道府県	排出量(g)	都道府県	排出量(g)
北海道	1193	滋賀	1004
青森	1131	京都	1129
岩手	1013	大阪	1315
宮城	1111	兵庫	1227
秋田	1123	奈良	1034
山形	974	和歌山	1143
福島	1093	鳥取	1068
茨城	1022	島根	995
栃木	1069	岡山	1091
群馬	1177	広島	1028
埼玉	1061	山口	1174
千葉	1113	徳島	1044
東京	1174	香川	1010
神奈川	1066	愛媛	1009
新潟	1261	高知	1029
富山	1073	福岡	1169
石川	1161	佐賀	936
福井	1067	長崎	1033
山梨	1089	熊本	953
長野	966	大分	1059
岐阜	1060	宮崎	1060
静岡	1107	鹿児島	956
愛知	1114	沖縄	912
三重	1123		

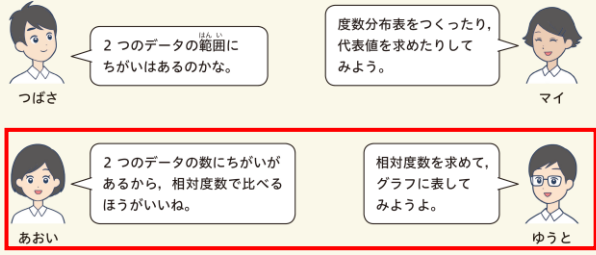
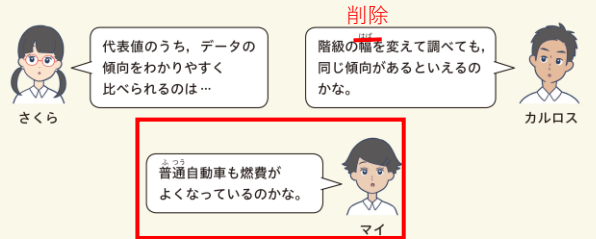
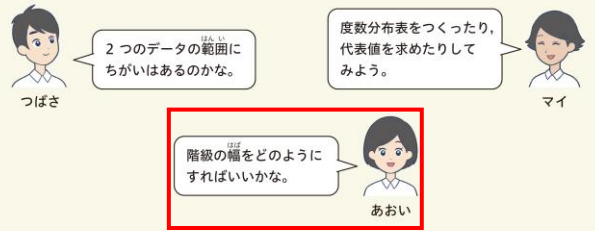
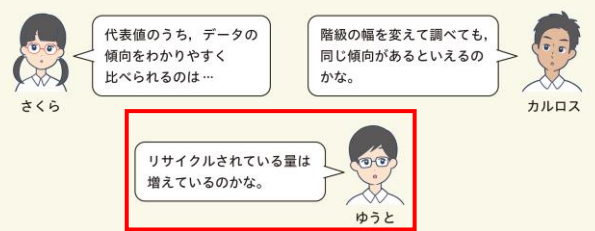


表16 1人1日あたりのごみの排出量 [2021年度]

都道府県	排出量(g)	都道府県	排出量(g)
北海道	941	滋賀	809
青森	1002	京都	775
岩手	908	大阪	911
宮城	976	兵庫	895
秋田	989	奈良	883
山形	904	和歌山	929
福島	1029	鳥取	1001
茨城	953	島根	940
栃木	913	岡山	923
群馬	968	広島	877
埼玉	841	山口	973
千葉	880	徳島	950
東京	829	香川	851
神奈川	819	愛媛	881
新潟	998	高知	955
富山	1032	福岡	926
石川	904	佐賀	876
福井	925	長崎	957
山梨	952	熊本	871
長野	800	大分	946
岐阜	874	宮崎	961
静岡	843	鹿児島	900
愛知	877	沖縄	881
三重	938		

インターネットで都道府県ごとの1人1日あたりのごみの排出量のデータを見つけたよ。

カルロス

「一般廃棄物処理事業実態調査」(環境省)

修正箇所	原文	修正文	理由
<p>p.257</p>	<p>(1) 表 15, 16 の 2 つのデータをどのような方法で分析すれば、データの傾向を調べられそうですか。</p>  <p>(2) これまでに学習したことを使って、2 つのデータを分析しなさい。</p> <p>(3) (2)の結果をもとに、<u>ガソリン軽自動車の燃費の変化</u>について説明しなさい。</p> <p>(4) (2), (3)で調べたことをふり返り、気づいたことをいいなさい。</p> 	<p>(1) 表 15, 16 の 2 つのデータをどのような方法で分析すれば、データの傾向を調べられそうですか。</p>  <p>(2) これまでに学習したことを使って、2 つのデータを分析しなさい。</p> <p>(3) (2)の結果をもとに、<u>1 人 1 日あたりのごみの排出量の変化</u>について説明しなさい。</p> <p>(4) (2), (3)で調べたことをふり返り、気づいたことをいいなさい。</p> 	<p>生徒により身近な題材で学習できるようにするため。</p>
<p>p.271 下</p>	<p>スポーツ</p> <p>スピードスケートのタイム</p> <p>マイナスはスポーツの世界でも使われます。たとえば、<u>2018年冬のピョンチャンオリンピック</u>では右のような場面がありました。<u>小平奈緒</u>選手の記録の「<u>-0.58</u>」という表示は、その時点までで最も速かった選手の記録より、<u>小平選手が0.58秒速かった</u>ことを表しています。この時点で小平選手はトップに立ち、その後2組のレースがありました。記録を越えられることはなく、<u>小平選手は金メダル</u>を獲得しました。</p>  <p>2018年ピョンチャンオリンピック スピードスケート女子500m 決勝</p>	<p>スポーツ</p> <p>スピードスケートのタイム</p> <p>マイナスはスポーツの世界でも使われます。たとえば、<u>2022年冬の北京オリンピック</u>では右のような場面がありました。<u>高木美帆</u>選手の記録の「<u>-0.64</u>」という表示は、その時点までで最も速かった選手の記録より、<u>高木選手が0.64秒速かった</u>ことを表しています。この時点で高木選手はトップに立ち、その後2組のレースがありました。記録を越えられることはなく、<u>高木選手は金メダル</u>を獲得しました。</p>  <p>2022年北京オリンピック スピードスケート女子1000m 決勝</p>	<p>新しい資料で学習できるようにするため。</p>